

平成 16 年度

標準化活動報告書

抜粋版

抜粋版

平成 17 年 4 月

(社) ビジネス機械・情報システム産業協会

標準化センター

## ■目次

1. 標準化センター	1
1.1 はじめに	1
1.2 標準化センター関係委員一覧	3
1.3 標準化センター幹事会	8
1.4 JBMS 推進小委員会	18
1.5 UI デザインプロジェクト	18
1.6 アクセシビリティプロジェクト	20
1.7 カラーマネジメントプロジェクト	21
1.8 JIS 原案作成委員会	23
2. 部会及び委員会の標準化活動	24
2.1 複写機・複合機部会	24
2.2 ページプリンタ部会	27
2.3 カード及びカードシステム部会	27
2.4 データプロジェクタ部会	27
2.5 デジタル印刷機部会	27
2.6 コミュニケーションボード部会	27
2.7 シュレッダ部会	28
2.8 環境委員会	29

## 1. 標準化センター

### 1.1 はじめに

(社) ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA) 標準化センターとして、4回目の活動報告書をここに発行する。

昨年度に引き続き今年度も積極的に標準化活動を展開し、標準化センターの各プロジェクト・小委員会及び部会などで、次の標準化センターの事例で示すような着実な成果を上げた。

- (1) 標準化センターが SC28 に提案した「ロードマップの作成」案は、AWG (Advisory Working Group) で検討された。2004 年 5 月の SC28 の総会では、具体的な新規テーマ候補をあげるという作業を標準化センター幹事会が検討し、8 月末に SC28 国内委員会に提出した。
- (2) 平成 16 年 3 月の次世代オフィスシナリオ委員会提案を、標準化センターとしてどのように受けとめて「標準化の新規分野テーマ」に結び付けていくかを検討し、次世代シナリオ委員会の今後の活動をウオッチすることにした。
- (3) ビジネス機械・情報システム産業協会規格の制定、確認、改正又は廃止に関する規程」、「JBMIA 標準仕様書 (TS) 及び標準報告書 (TR) に関する規程」、「JBMS 制定提案書」及び J B M I A TS/TR 採番・有効期限延長申請書の見直し・作成を行った。
- (4) 事務機械のアクセシビリティ JIS 原案作成委員会を 6 月に発足させ、作成した原案を平成 17 年 3 月に (財) 日本規格協会に提出した。
- (5) 情報アクセシビリティ JIS 事務機器の評価基準 (適合評価ルール) についてアクセシビリティ標準化 WG で検討を開始し、平成 17 年度に JBMS として纏める予定で作業を行っている。
- (6) 横浜国立大学岡島研究室と共同で「液晶ディスプレイの見やすさ」視覚表示基準を検討した。今後、JBMS として纏める予定。
- (7) 情報アクセシビリティ分野の統一的な国際規格作成の提案が米国から出され、その対応を目的として、JTC 1 SWG が組織された。平成 17 年 4 月の SWG 国際会議へ SC28 の代表という立場で、JBMIA アクセシビリティプロジェクトから委員 1 名を参加させることになった。
- (8) U I デザインプロジェクトの 16 年度以降の標準化検討項目として「プリンタドライバの機能分類及び表現」、「原稿ガラスのレジ表記方法」及び「数字キーによる文字入力方法」を決定した。
- (9) U I 用語である「N in 1」及び「機密印刷」の適切な表現について調査を行って用語を決定し、複写機用語の JIS 原案に採用した。また、送信用語についての検討及

びマイクロソフト社との用語整合も行っている。

- (10) カラープリンタの標準的な色変換アルゴリズム制定に向けた基礎データ収集を目的に、評価実験を千葉大学に依頼して実施した。平成17年4月までに結果をまとめる予定。
- (11) デジタル画像プリンタ業界の「耐光性」「耐熱性」「耐水性」などの国際規格制定のための検討が I S O TC42/WG5/TG3 で行われており、J B M I A 参加企業の意見を整理し、国際会議に参加し意見を述べるなどの活動を行っている。

本報告書が、今後、標準化活動を進める上での資料としてお役に立てば幸いである。

技料出版

## 1.8 JIS 原案作成委員会

### (1) 活動概況

- ① 平成 16 年度に、次の 6 件の JIS 原案を作成するために、JIS 原案作成委員会を発足させて活動し、3 月末までに 1)～3)及び 6)の JIS 原案を財団法人日本規格協会へ提出した。
  - 1) JIS B 0137:1985 複写機用語(Glossary of terms for copying machines) : 改正
  - 2) モノクロ電子写真プリンタ及びプリンタ複合機のトナーカートリッジ印字可能枚数測定方法(ISO/IEC 19752 Method for the determination of toner cartridge yield for monochromatic electrophotographic printers and multi-function devices that may contain printer components) : 制定
  - 3) 高齢者・障害者配慮設計指針－情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス－第 X 部：事務機器(Guidelines for older persons and persons with disabilities－Information and communications equipment, software and services－Part 5 : Office equipment) : 制定
  - 4) JIS C 6065:1988 オーディオ、ビデオ及び類似の電子機器－安全要求(IEC 60065:2001 Audio , video and similar electronic apparatus－Safety requirements) : 制定
  - 5) JIS C 6950 情報技術機器の安全性－第 1 部：一般要求(IEC 60950-1:2001 Information technology equipment－Safety－Part 1:General requirements) : 改正
  - 6) IC カード－第 15 部：暗号情報アプリケーション (ISO/IEC 7816-15 Identification cards－Integrated circuit(s) cards with contacts－Part 15: Cryptographic information application) : 制定
- ② 次の 4 件の JIS 原案が、平成 17 年 3 月 23 日の JISC 情報技術専門委員会で審議され、平成 17 年 7 月末日頃に公示される予定である。
  - 1) JIS X 6302-1 識別カード－記録技術－第 1 部：エンボス：制定  
・ ISO/IEC 7811 のパート制導入による ISO/IEC 7811-1 の JIS 化。
  - 2) JIS X 6302-2 識別カード－記録技術－第 2 部：磁気ストライプ－低保磁力：制定  
・ ISO/IEC 7811 のパート制導入による ISO/IEC 7811-2 の JIS 化。
  - 3) JIS X 6302-6 識別カード－記録技術－第 6 部：磁気ストライプ－高保磁力：制定  
・ ISO/IEC 7811 のパート制導入による ISO/IEC 7811-6 の JIS 化。
  - 4) JIS X 6931 モノクロ電子写真プリンタ及びプリンタ複合機のトナーカートリッジ印字可能枚数測定方法(ISO/IEC 19752 の JIS 化)